

**2018 年 4 月 大学院商学研究科
修士課程入学試験問題 専門科目**

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙および解答用紙に触れないこと。
2. 問題用紙および解答用紙はそれぞれ別の用紙になっている。
3. 9 題のうち 2 題を選択すること。
4. 少なくとも 1 題は、自分の志望する研究指導の分野に最も近いと判断される問題を選択すること。
5. 専門科目の答えは二次試験の参考資料とするので、それを踏まえて問題を選択すること。
6. **試験開始の合図後**、解答用紙左上の指定された□内に選択した問題番号を、所定の欄に受験番号、氏名をわかりやすく正確に記入すること。また、所定の欄以外に受験番号および氏名を記入しないこと。
7. 解答は、黒色または青色のインクのペンまたはボールペンを使用し、すべて解答用紙の所定の 1000 字のマス内（グラフまたは図を用いる場合はそれも含む）に書くこと。消しゴムで文字を消すことができるインクのペンまたはボールペンは使用しないこと。
8. 解答用紙の裏面に記入してはならない。
9. 修正液または修正テープの使用は認める。
10. 筆記用具、修正液および修正テープは貸与しない。
11. 問題用紙および解答用紙は原則として取り替えない。

以 上

2018 年 4 月 大学院商学研究科

修士課程入学試験問題 専門科目

[注意]

- ①選択した問題番号を解答用紙左上の指定された□内に記入のこと。
- ②選択した問題をあらためて書く必要はない。
- ③答案は日本語で横書きのこと。
- ④答案は 1,000 字のマス内（グラフ、図を用いる場合はそれも含む）に書くこと。
- ⑤答案は解答用紙の表面にだけ書くこと。

次の[設問 1]から[設問 9]の 9 題中から 2 題を選択のうえ、論述しなさい。

(経営領域)

[設問 1] 以下の全ての問いに答えよ。

- (1) 製品多角化がなぜより大きな経済価値を生むときがあるのか、その理由をふたつ説明せよ。
- (2) 製品多角化の程度が高い非関連多角化の場合に、より有効にその戦略を実行できる組織構造を挙げ、その理由を説明せよ。
- (3) 期待理論に基づき、非関連型多角化をしている企業において、各事業の長のモチベーションを向上させるための報酬を設計し、その理由を説明せよ。

(マーケティング領域)

[設問 2] これからの企業のマーケティングには、マーケティング・アズ・コミュニケーションの実践が必要との言説がある。そして、これに関連して、インタラクションやダイアログという概念の重要性が指摘される。なぜこうしたマーケティングが必要であるのか、その価値と本質はどこにあるのか、ならびに 4P にどのような変化が生じるかを織り込んで総合的に論述しなさい。

(国際ビジネス領域)

[設問 3] バーノンが提唱したプロダクト・サイクル・モデルの妥当性について、次の3つの点に分けて論じなさい。

- (1) 2017 年現在と比較した環境の変化とそれによる説明力の減退
- (2) プロダクト・サイクル・モデルが当てはまらない企業行動
- (3) 上記の(1)と(2)の批判を踏まえたとしても、国際経営論の観点での今なお重要な示唆

(金融領域)

[設問 4] 銀行と証券会社はいずれも資金仲介機関である。このことを踏まえた上で、以下の設問に解答しなさい。

- (1) 証券会社における「引受業務」とはどのようなものなのか。銀行における類似業務と関連付けて説明しなさい。
- (2) 証券会社と銀行のビジネスにおいて、決定的に異なるのはどのような点なのか。説明しなさい。但し、この設問においては銀行の伝統的なビジネスの範囲に限定して説明すること。
- (3) 設問(2)とは異なり、近年において、銀行のビジネスにおいて、証券会社のそれと極めて似通っている部分が拡大してきている。それに関して説明しなさい。

(保険領域)

[設問 5] 保険は、歴史的には、賭博の手段として使われたことがある。これに対応して、保険を賭博と区分するため、保険制度に、被保険利益(Insurable Interest)という概念が導入された。それによって、保険は、賭博と区分され、社会的に有効な制度として評価されるようになった。それに関連して、次の項目について、論じなさい。

- (1) 被保険利益と賭博保険
- (2) 一部保険と比例てん補
- (3) 超過保険と重複保険

(財務会計領域)

[設問 6]

- (1) 財務諸表監査における「意見不表明」と「不適正意見」について説明しなさい。
- (2) 企業結合会計における「持分プーリング法」と「パーチェス法」について説明しなさい。
- (3) 棚卸資産の原価配分における「先入先出法 (FIFO)」と「後入先出法 (LIFO)」について説明しなさい。

(管理会計領域)

[設問 7] 以下の 2 つの間に解答しなさい。

- (1) 下記の表は、財務会計と管理会計の基本的な違いに言及したものである。適宜事例をあげながら表の空欄に当てはまる文章を作成しなさい。

	財務会計	管理会計
情報の利用者	企業外部の利害関係者（株主、債権者、徴税当局など）	①
アウトプット情報のタイプ	主に過去情報（歴史的原価、取得原価など）	②
社会的規制との関係	企業法、金融商品取引法、税法などの規制を受ける	③
要求される情報の属性	正確性、公平性、検証可能性など	④
情報利用者の意思決定に対する影響	情報の利用者の意思決定に意図的に影響を与えることは決して許されない	⑤

- (2) 上記のような相違点が認められるものの、財務会計と管理会計はじつは密接につながっている。たとえば、その生成の経緯からして予算制度はまさにそれを象徴するものといえよう。この予算を例に取り、財務会計と管理会計の関係性について解説しなさい。

(ミクロ経済学領域)

[設問 8] 以下の 2 つの設問に答えなさい。

- (1) X 財、Y 財を消費する、ある消費者の効用関数が次のようにあらわされているとする。

$$U = 4X + 8X^{0.5}Y^{0.5} + 4Y$$

また、X 財の価格を P_x 、Y 財の価格を P_y 、この消費者の所得を M とする。このとき、X 財および Y 財の需要曲線を P_x 、 P_y 、 M を用いて示しなさい。

- (2) 労働供給の後方屈曲 (backward bending) についてグラフをもちいて説明しなさい。その際に代替効果、所得効果という用語をもちいること。

(マクロ経済学領域)

[設問 9] 以下の設問に答えなさい。ただし、通常の IS-LM モデルを用いて考えること。


- (1) 金融政策および財政政策の有効性についてグラフを用いて説明せよ。
- (2) 投資需要の利子弾力性が変化した時に財政政策および金融政策の効果がどのように変化するかをグラフを用いて説明せよ。
- (3) 公債の資産効果（公債残高が資産として経済的效果をもつこと）があることを前提に、政府支出の増加がもたらす影響をグラフを用いて説明せよ。

— 以 上 —

--	--

受験番号	
氏名	

(問題番号)


[illegible]

(以上 1,000字)

--

受験番号	
氏名	

(問題番号)

[illegible]

(以上 1,000字)